

## 基本目標 2 子どもと親が健康に暮らせるまちづくり

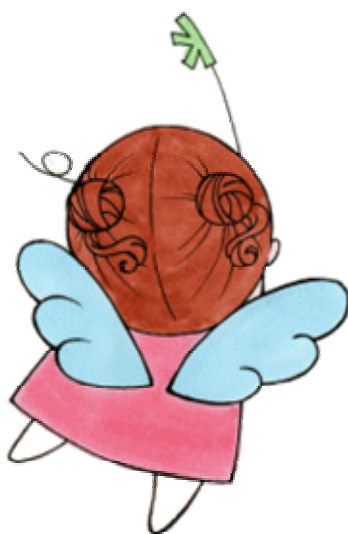
### 主要課題 2 - 1 子どもと親の健康の確保

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
2-1-1 親子健康教育	<p>妊産婦、乳幼児の健康を保持増進できるように支援を行います。</p> <p>母子健康手帳の交付 1,335冊(妊娠届によるもの)            両親教室 12コース36回 564人 延べ1,255人参加            離乳食教室 6回 236人参加            6か月児育児教室 48回 975人参加            1歳児歯科育児教室 24回 917人参加            育児講演会 8回 537人参加            思春期講演会 3回 83人参加            赤ちゃんの衣・食・住をテーマにした消費生活移動教室 0回</p>					市民健康課 市民活動課
2-1-2 妊婦及び乳幼児健康診査	<p>定期健康診査により、妊婦や乳幼児の健康の保持・増進を図るとともに発達問題等の早期発見と予防に努めます。</p> <p>また、子育て情報の提供により、育児中の親の孤立化を防ぎます。</p> <p>妊婦健康診査 1回目・2回目計2,445件            19年度新規事業            妊婦健康診査の公費負担を2回追加し、計4回無料で受けることができます。</p> <p>乳児健康診査 4か月児健康診査 1,192人            お誕生日前健康診査 1,198人            1歳6か月児健康診査 1,015人            3歳児健康診査 1,152人            幼児歯科健康診査 2歳児歯科健康診査 831人            精密健康診査 36件</p>					市民健康課
2-1-3 親子健康相談	<p>育児、栄養、運動、歯など、健康なライフスタイルの確立と親子への支援を図るため、いつでも気軽に相談できる体制づくりに努めます。</p> <p>乳幼児健康相談 84回 1,983人            電話相談 2,078人            面接相談 2,191人</p>					市民健康課
2-1-4 家庭訪問	<p>家庭訪問によって、妊娠、出産、育児の不安の解消を図り、健康の保持・増進に努めます。</p> <p>妊産婦、新生児家庭訪問            助産師による訪問 妊婦1人、産婦・新生児536組            乳幼児家庭訪問 253人</p>					市民健康課
2-1-5 予防接種	<p>感染性疾病を未然に予防し、子ども一人ひとりの健やかな成長を図るため、予防接種の適切な実施に努めます。</p> <p>ポリオ(集団接種)22会場            BCG・DPT・麻しん・風しん・DT・日本脳炎(個別接種)60医療機関</p>					市民健康課
2-1-6 健診後のフォロー体制づくり	<p>発達等、心配のある乳幼児への専門的アドバイス、及び適切な対応を図ります。</p> <p>発達・栄養・健康・育児・心理・運動発達相談            1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査等で実施しました。            幼児グループ指導            市民健康課、健康診査事後フォロー教室 6グループ 延569人参加            障害者福祉課 ひよこグループ 延553人            乳幼児ケース検討</p>					市民健康課 障害者福祉課
2-1-7 不妊相談の周知(17新規)	<p>県で実施している特定不妊治療費助成事業や不妊専門相談センターについて、市民健康課窓口及び健康相談の場等において周知しています。</p> <p>県が作成したリーフレット等を配布しました。</p>					市民健康課

## 主要課題 2 - 2 食育の推進

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
2-2-1 学校における食育の推進	<p>学校の教育活動全体を通して行う健康教育の一環として、児童生徒に食に関する知識を教えるだけでなく、望ましい食習慣の形成に結びつく実践力を育成します。</p> <p>また、家庭や地域と連携し、食生活・栄養に関する正しい知識の普及に努めます。</p> <p><i>給食だよりを発行して食に関する情報を提供しました。</i></p>					学務課
2-2-2 親と子の食生活体験学習の開催(17新規)	<p>地域における「食」について食文化面から先駆的に活動している講師(フードコーディネーター)と栄養士等により親子で「食育」を実習体験する講座を開催します。</p> <p><i>ちいさなコックさん集まれ 6回 116人</i></p>					市民健康課
2-2-3 離乳食教室の開催	<p>乳児を持つ親に対する離乳食の進め方の指導や調理実習等を開催します。</p> <p><i>離乳食教室 6回 236人参加</i></p>					市民健康課
2-2-4 栄養相談・栄養指導の実施(17新規)	<p>乳幼児だけではなく、家族全体をとらえ、状況に合わせた栄養相談、指導を実施します。</p> <p><i>乳幼児健康診査・育児教室健康相談の中で、栄養相談を行いました。</i></p>					市民健康課
2-2-5 乳幼児健診の場を通じた情報提供	<p>乳幼児健診や育児教室等において、保護者を対象に望ましい食生活に関する資料・情報の提供を行います。</p> <p><i>リーフレット、食事見本などによる情報提供を行いました。</i></p>					市民健康課
2-2-6 保育園における食育の推進(17新規)	<p>保育園の食事・行事・日常の保育を通して、健康な心身と良い食習慣を形成します。</p> <p><i>給食委員会を設置し、内容の充実を図りました。(9回実施)</i> <i>4、5歳児の保育計画に「調理保育」を組み込み、食材になる食物の栽培を経験したり、その収穫した食材を使って調理をしたりなど各園で積極的な食育を行いました。</i></p>					保育課
2-2-7 食育事業(エプロンシアター)(17新規)	<p>食事の時間や、幼児クラスの保育の中で、季節の食品や身体での役割を話します。</p> <p>子どもたちへ食についての働きかけを保育計画の中に盛り込みます。</p> <p><i>保育計画・調理保育計画作成段階から保育士と保育課栄養士が連携して計画をし、栄養士がエプロンシアター等の媒体を使用して食育を実施しました。</i></p>					保育課
2-2-8 食生活改善推進員の活動支援	<p>食育推進員を育成し、そのグループ活動を支援します。</p> <p><i>離乳食教室 6回に延べ32人の推進委員が支援しました。</i> <i>19年度新規事業</i> <i>鎌倉市の食育を地域で推進するため、食育ボランティアのネットワーク組織として「かまくら食育クラブ」を立ち上げます。</i></p>					市民健康課
2-2-9 食品についての消費者教育	<p>夏休み子ども教室やリーフレットなどで消費者としての次世代に、食品への関心と呼び起こすことに努めます。</p> <p><i>3回 78人参加</i></p>					市民活動課

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
2-2-10 「成長・発達にあ わせたはたらき かけ」冊子の作成 (17 新規)	<p>保育園における年齢別の食事、保育の問題点をまとめ、各年齢に応じた食事指導、家庭への食についてははたらきかけを明確にします。冊子に沿って、子どもの成長、年齢にふさわしい食事指導を保育の活動と連携しながら行えるようにします。</p> <p>地域交流等を通して、発達に合わせたはたらきかけを伝えていきます。</p> <p>「成長・発達にあわせたはたらきかけ」の完成 乳幼児の生活や活動と連携した食のはたらきかけ 給食マニュアルを作成し、各月齢・年齢の発達にあわせた食事内容を明記しました。この内容にそって各月齢・年齢にあわせた調理を行うとともに、家庭へのはたらきかけを行っていきます。</p>					保育課
2-2-11 食育の啓発 (19 新規・実)	<p>食への関心を高めることを目的に、食に関する情報と学習の場を提供するため、「食に関する講座」をまとめた冊子の作成や広報において周知を図ります。</p>					市民健康課



## 主要課題 2 - 3 思春期保健対策の充実と母性・父性の健全育成

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
2-3-1 思春期相談体制 の充実	<p>学童期・思春期における心の問題について、子どもと保護者の相談に的確に対応できるよう、関係機関と連携し相談体制の充実を図ります。</p> <p>中学校へのスクールカウンセラー配置 16年度 7校 21年度 9校 市立中学校全9校へ配置 教育相談指導員の配置 教育センター相談室 4人 教育支援教室 4人 メンタルフレンド導入 メンタルフレンド登録6人、6ケースに派遣しました。</p>					教育センター
2-3-2 親に対する思春 期理解への支援	<p>思春期を迎える子どもを持つ保護者を対象とした専門家による講演会等を開催します。 また、中学校において、生活指導担当教諭等から子どもの思春期について話をします。</p> <p>思春期講演会(幼児期から思春期までの親子関係を考える) 3回 83人参加 新入生保護者説明会、新学年保護者懇談会等 市立中学校全9校で実施</p>					市民健康課 教育指導課
2-3-3 学校における思 春期教育の充実	<p>小学校では、体育の保健分野で思春期の体の変化の学習、道徳における指導等、中学校では保健体育科の保健分野で思春期の体の発達や特別活動での心身の健康・安全にかかわる指導等を行っています。 また、喫煙・飲酒・薬物乱用の心身への影響の啓発を行っています。</p> <p>薬物乱用防止教室 市立小学校3校 3回、市立中学校9校 16回</p>					教育指導課
2-3-4 (仮称)思春期心 と体の健康づく り連絡会議の開 催(17新規)	<p>「市民健康づくり庁内連絡協議会」において関係各課における事業や現状・課題について話し合い、健康福祉プランの健康づくり部門として計画案を策定します。</p> <p>市民健康づくり庁内連絡協議会の開催 0回</p>					市民健康課
2-3-5 児童・生徒理解研 修会の実施	<p>教員として必要な児童・生徒の理解、教育相談の理論や技法を習得し、教育活動に生かせる実践力の向上を図ります。</p> <p>児童生徒理解研修会 4回 訪問相談員等研修会 1回(教職員の希望者)</p>					教育センター

## 主要課題 2 - 4 小児医療の充実

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
2-4-1 小児救急医療体制の充実	<p>関係機関との協議による小児救急医療体制を充実します。 また、広域的に小児救急に取り組むとともに、環境整備を図り、小児保健医療水準の維持向上を目指します。</p> <p>初期救急 休日夜間急患診療所 患者数 小児科 1,211人 第二次救急医療 藤沢市民病院 第三次救急医療 県立子ども医療センター及び救急救命センター 継続充実</p>					市民健康課
2-4-2 小児医療費助成(再掲)	<p>0歳～就学前の児童の通院と、0歳～中学生の入院にかかる健康保険自己負担分医療費(入院時食事代を除く)の全額を助成します。</p> <p>1-5-3参照</p>					保険年金課
2-4-3 小児緊急医療支援事業	<p>休日夜間診療所の土・日・休日の夜間には、小児科に対応できる医師を配置します。</p> <p>患者数 小児科 1,211人</p>					市民健康課
2-4-4 かかりつけ医の確立	<p>子ども一人ひとりの様々な健康問題が早期かつ包括的な対応を受けられるよう、保護者(予定者を含む)にかかりつけ医の確立等に関する啓発に努めます。</p> <p>4か月児健診未受診対応の家庭訪問等で啓発しています。 37件</p>					市民健康課

